

# 安全報告書

2018年

太龍寺ロープウェイ

四国ケーブル株式会社

## 1. 利用者の皆様へ

平素より弊社の索道事業に対し、ご利用とご理解を頂きまして、誠にありがとうございます。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、安全輸送の確保のための取組みや現在の安全の実態について、自ら顧みるとともに広くご理解いただくために公表するものです。皆様からの声を輸送の安全に役立てたく、是非、積極的なご意見を頂戴できれば幸いです。

また、平成30年3月10日太龍寺事業所で起こしました索道運転人身事故（作業員死亡事故）では、多くの皆様に大変なご迷惑とご心配をお掛けしましたことを、心よりお詫び申し上げます。今後、このような事故が起こることの無いよう、安全管理体制、施設の改善、作業の実施についての再発防止対策をしっかりと行い、社員教育をより一層徹底し、精進してまいる所存でございます。

今後とも、旅客運輸業の最大の使命であります安全輸送の確保を最優先に努めると共に、サービスの向上に最善の努力を図って参りますので、引き続きのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

四国ケーブル株式会社

代表取締役社長 赤川 正樹

## 2. 基本方針と安全目標

### (1) 基本方針

**\*社是**      **お客様に安全・快適・感動の布施を行ずること**

当社の経営理念の第一は、安全の確保です。「安全基本方針」を次のように掲げ、社長以下従業員全員に周知・徹底しております

- ① **安全第一**；一致協力して輸送の安全の確保に努めること
- ② **法令遵守**；輸送の安全に関する法令及び関連する規程（安全管理規程を含む。以下、「法令等」という。）をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行すること
- ③ **現状把握**；常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めること
- ④ **確認励行**；職務の実施にあたり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安

全と思われる取り扱いをすること

- ⑤ **人命優先**；事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置をとること
- ⑥ **情報共有**；情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保すること
- ⑥ **問題意識**；常に問題意識を持ち、必要な変革に取り組むよう努めること

(2) 安全目標

## 事故発生をゼロにする

### 3. 事故等の発生状況とその再発防止措置（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

(1) 索道運転事故

3月10日 索道人身傷害事故が発生しました

(2) 災害（地震や暴風雨など）

ありませんでした

(3) 輸送障害(30分以上の遅延や運休)

① 強風による運休は、4日間延べ16時間15分ありました

② 雷による運休は、4日間延べ2時間30分ありました

③ 故障等による運休は、ありませんでした

(4) インシデント(事故の兆候)

ありませんでした

(5) 行政指導等

索道運転事故の防止について（警告）がありました

### 4. 輸送の安全確保のための取組み

(1) 安全重点施策

- ・ 基本動作の励行
- ・ 設備の老朽化による事故、輸送障害をなくする。(予防保全)
- ・ 係員のミスによる事故、輸送障害をゼロにする。

- ・ 定期検査の確実な実施

## (2) 人材教育

- ・ 全従業員を対象に研修会を実施し、諸規定、安全管理規定、細則等の復習を実施する
- ・ 連絡会を定期的に行い、その都度問題点、周知事項等の確認をする
- ・ 全事業所における従業員の業務上の体験（ヒヤリ・ハット等）、お客様からのご意見、そして提案事項等を抽出し、集計した内容を所長会で公表して全従業員に周知する。問題点は早急に対策を講じる
- ・ 技術係は定期的に勉強会を開催し、技術レベルの向上に努める。また、研修会資料、事故事例等を紹介し、類似事故等の防止に努める

## (3) 緊急時対応訓練

勤務割り表に搬器からの救助訓練、予備原動機運転訓練の予定を入れ、定期的に習熟する。予備原動機の訓練は5回、搬器からの救助訓練は8回実施しました

また、年末年始輸送安全総点検に併せて、消防署・警察署の立会の下搬器からの実践的な救助訓練、火災による避難訓練、消防署立会の下消火器による消火訓練を実施する。

## (4) 安全のための投資と支出

予防保全の理念の下、各設備の補修、更新を継続的に実施する。また、安全の維持・向上のため、安全管理委員会の巡回により不安全箇所の早期改修、改善を実施する

\* 平成29年度の主な保守実績は次のとおりです。

- |         |              |     |
|---------|--------------|-----|
| ① 走行機   | 4輪ビーム交換      | 1組  |
| ② 曳索    | 切詰工事         |     |
| ③ 搬器内部  | ダイソン扇風機 取付   | 各1台 |
| ④ 支柱    | 受索輪交換        | 5組  |
| ⑤ 常用制動機 | ポッド交換        |     |
| ⑥ 常用非常用 | PSP オイル交換    |     |
| ⑦ 原動滑車  | カップリング グリス交換 |     |
| ⑧ 搬器    | ドアワイヤー交換     |     |

- ⑨ 予備原動機 エンジン冷却水交換
- ⑩ 誘導滑車 ゴムライナー交換 2枚
- ⑪ 原動滑車 減速機側カップリング グリス交換

\* 平成30年度の投資予定は次のとおりです。

- ① 走行機 パランスピン交換
- ② 走行機 ローラーピン交換
- ③ 走行機 走行輪 交換
- ④ 支柱サドル用受索輪 交換
- ⑤ 予備減速機オイル 交換
- ⑥ 減速機オイル交換
- ⑦ 誘導滑車ゴムライナー 交換
- ⑧ 懸垂索受用受索輪 交換
- ⑨ 搬器アクリルガラス交換
- ⑩ 原動滑車 カップリンググリス交換
- ⑪ BK、PSP オイル交換

## 5. 当社の安全管理体制

社長をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にしています

- ・ 社 長 輸送の安全確保に関する最終的な責任を負う
- ・ 安全統括管理者 輸送の安全の確保に関する業務を統括する
- ・ 技術部副部長 安全統括管理者の指揮の下、安全統括管理者の安全に関する業務を補佐する
- ・ 索道技術管理者 安全統括管理者の指揮の下、索道の運行の管理、索道施設の保守の管理その他の技術上の事項及び事故防止に関する事項の業務を統括管理する
- ・ 事業所所長 索道技術管理者の指揮の下、索道技術管理者の業務を補佐する
- ・ 運輸営業部長 輸送の安全の確保に必要な要員の確保に関する事項を統括する
- ・ 総務経理部長 輸送の安全確保に必要な財務に関する事項を統括する

当社の安全管理体制図は別図のとおりです

末尾に別図添付

## 6. 利用者の皆様との連携とお願い

より安全で信頼される ロープウェイ をつくるため、皆様からの声を役立てます。ご意見をお寄せください

『お客様の声をかたちにしていきます』

## 7. ご連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取組みに対するご意見をお寄せください

四国ケーブル株式会社

太龍寺ロープウェイ事業所

TEL 0884-62-3100 FAX 0884-62-3101

ホームページ <http://www.shikoku-cable.co.jp/>

E-mail [info@shikoku-cable.co.jp](mailto:info@shikoku-cable.co.jp)

# 安全管理体制図

(別図)

四国ケーブル株式会社

